

第2学年2組 学級活動（1）学習指導案

令和7年2月18日（火）第5校時

1 議題 「3年生に感謝と応援を伝える会を開こう」

学級活動（1）学級や学校における生活づくりへの参画

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 生徒の実態と議題選定の理由について

※当日配付

3 評価規準

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
学級の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級の生活をよりよくするための課題を見いだしている。課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

4 事前の活動（生徒会活動との関連も含む）

日時 活動の場	生徒の活動 ○学級活動委員の活動 ●全員の活動 ☆生徒会活動	・指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】（評価方法）
1月28日 （火） 朝会	☆1・2年生合同で、3年生を送る会に向けた決起集会を行う。	・3年生を送る会に主体的に参画させる機会とする。	
1月29日 （水） 朝の会	●学級として、3年生に「感謝と応援」を伝える方法を考え、Google Formsに回答する。	・Google Formsを議題カードの代わりとして活用する。	
1月31日 （金） 昼休み	○アンケートをもとに議題案の検討と選定をする。	・議題を選定する際の視点について助言する。	◎よりよい学級生活を目指し、進んで議題を考えたり決めたりしている。 【態】（観察、アンケートの回答）
2月4日 （火） 帰りの会	●議題を決定する。	・学級活動委員の提案のもと、全員で議題を決定させる。	
2月6日 （木） 昼休み 放課後	○活動計画を作成する。 （提案理由を練り上げ、話し合いの目標の確認、決まっていることの確	・日時や場所等の条件を教師が設定して伝える。 ・前回までの反省を生	◎学級活動委員の役割や3年生に感謝を伝える取組を決めるため

	認、司会グループの役割分担、話し合うことの検討) ○「学級会のマニュアル」を見て、進め方の確認をする。	かすという視点について助言する。	の話し合いの進行の仕方等を理解している。 【知】（観察、活動計画）
2月10日 (月) 昼休み	○ホワイトボードに提案理由や決まっていることなどを記入し、掲示する。 ○「当日の次第」を掲示する。	・決まっていることを示すことで、イメージの共有化、話し合いの焦点化を図る。	
2月12日 (水) 朝の会 帰りの会	○再度、活動計画を口頭で伝える。 ●学級会ノートに自分の考えを記入する。	・ホワイトボードを活用させる。 ・提案理由や決まっていることを踏まえた意見が出せるように助言する。	◎3年生に感謝と応援の気持ちを伝えられる方法や工夫を考えている。 【思】（学級会ノート）
2月13日 (木) 放課後	○学級会ノートに書かれた意見を整理して短冊に記入し、教室に掲示する。	・短冊の内容についてわからないものは確認させる。	
2月14日 (金) 帰りの会	●学級活動委員が整理した意見について共通理解をする。		
2月17日 (月) 昼休み	○本時の流れや進め方を再確認し、話し合いの見通しを持つ。	・本時の進行について心配な点や不安な点があれば助言する。	

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

提案理由を踏まえて自分の意見を述べるとともに、学級の仲間の考えも大切にしながら、3年生に感謝と応援の気持ちを伝える取組について合意形成を図ることができるようにする。

(2) 指導計画

活動の計画	・指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】（評価方法）
1 はじめの言葉 2 学級活動委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認	・事前にコの字隊形にする。 ・短冊などを掲示しておく。	
【提案理由】 今年度の学校行事も残り少なくなり、3年生を送る会と卒業式を残すだけとなりました。私たちは、団活動を通して3年2組の先輩にたくさんのことを教わりました。特に体育祭当日の先輩たちの姿はとてまかつよく、さすが3年生だと感じた人も多かったと思います。このように、私たちは3年2組の先輩への感謝の気持ちを持っていますが、体育祭当日だけでは時間が足りず、気持ちを伝えきれれていません。そこで、私たち2年2組が、クラスとして、3年2組の先輩に今までの感謝とこれからの生活への応援の気持ちを伝える会を開きたいと思います。このような会を開くことで私たちの思いも伝えられるし、3年2組の先輩に喜んでもらえて、後輩との最後の思い出作りができると思うので、提案します。		
5 話合いの目標の確認 6 決まっていることの確認	・3月10日（月）の帰りの会の際の20分程度、3年2組に思いを伝える場があること、準備期間などを確認させる。	
7 教師の話	・提案理由の補足をしながら話合いの意義を伝え、積極的に参加するように促す。 ・決まっていることの補足をする。	

8 話し合い 話し合うこと① 「何をするか」 話し合うこと② 「3年2組に感謝と応援の気持ちを伝える会の工夫」 話し合うこと③ 「役員分担」	・限られた時間の中で話し合うことを踏まえ、①については「比べ合う」から始める。冒頭に追加の意見や質問などないか確認させる。 ・「比べ合う」から「まとめる」段階に入る際において、意見がまとまらないときや自治的範囲を逸脱しそうな場合には適宜助言し、「提案理由」や「決まっていること」に立ち返りながら合意形成が図れるようにする。 ・学級の仲間の考えを大切にしながら発言するように助言する。 ・全員が「予め当日の次第で決まっていた役割」か「学級会で決まった役割」のいずれかに携われるように決めていく。 ・話し合いの時間を確認させ、時間内に合意形成が図れるようにする。	◎提案理由を踏まえて自分の意見を述べるとともに、学級の仲間の考えも大切にしながら、3年生に感謝と応援の気持ちを伝える取組について合意形成を図っている。 【思】（観察）
9 決まったことの確認	・ノート記録の生徒に、要約して端的に発表するように事前指導する。	
10 振り返り	・話し合いの振り返りをさせるとともに、今後の活動に向けての思いを記入させる。	
11 教師の話	・終末の助言では、①学級活動委員へのねぎらい、②合意形成に至る過程の振り返りと積極的な参加への称賛、③今後の見通しを持たせる、④実践への意欲を高める話をする。	
12 おわりの言葉		

6 事後の活動（生徒会活動、学級活動（3）との関連も含む）

日時 活動の場	生徒の活動 ○学級活動委員の活動 ●全員の活動 ☆生徒会活動 ★学級活動（3）	・指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】（評価方法）
2月19日 （水） 朝の会	○決まったことを掲示する。	・全員にとってわかりやすく書くように助言する。	
2月20日 （木） 昼休み	○準備計画を立てる。	・役割と具体的な仕事を確認して、準備が円滑に進められるようにする。	
2月21日 （金） ～	●3年生に感謝と応援を伝える会の準備や練習をする。	・進捗状況を確認し、適宜助言する。	◎クラスメイトと協働しながら実践している。 【思】（観察）
3月5日 （水）	☆3年生を送る会の中で、演劇や呼びかけ、合唱を通して、3年生に感謝と応援の気持ちを伝える。		
3月10日 （月） 帰りの会～	●「3年生に感謝と応援を伝える会」を開く。	・会が円滑に進み、全員が思いを伝えられるように、適宜助言する。	◎クラスメイトと協働しながら、全力で感謝と応援の気持ちを伝えようとしている。 【態】（観察、振り返りシート）
3月11日 （火） 帰りの会	●実践の振り返りをする。	・自分の役割と全員の活動の成果などを記入させ、今後の学級解散式等の活動への意欲を高める。	◎自己の役割や実践全体の成果を振り返り、今後の活動に生かそうとしている。 【態】（振り返りシート）

3月12日 (水) 朝の会	★後輩から感謝され、応援されるような3年生になるために大切なことについて考え、Google Formsで回答する。	・4月から3年生になることを踏まえて考えさせる。 ・卒業式における3年生の姿などを想起させる。	
3月18日 (火) 1時間目	★後輩から感謝され、応援されるような3年生になるために大切なことを、学級全体で話し合う。 ★今の自分に足りていないことを中心にし個人目標を決める。 ★決めたことを実践する。	・意思決定が難しい生徒に対しては、友達の意見を参考にするように助言する。 ・継続した活動になるよう、日頃から声かけを行う。	
3月25日 (火)	★実践の振り返りをする。	・解決しきれなかったことは、今後も実践を継続していくように伝える。 ・後輩から感謝され、応援されるために大切なことについては、今後も継続して考えていくように説諭する。	